

NPO法人社会還元センターグループわ 会報

情報ぎゃらりー

第39号

情報ギャラリー第39号
 発行日 2007年7月20日
 編集 グループわ 広報部
 発行者 郷 肥三
 発行元 NPO法人社会還元センター
 グループわ
 TEL(078)743-8101 FAX(078)743-3830
 Eメール group_wa@wa-net.jp
 ホームページ http://www.wa-net.jp

全員参加で式典を盛り上げよう

NPO法人グループわ 設立10周年記念事業

日時 平成19年9月1日2日 場所 こうべシルバーカレッジ・しあわせの村

なお記念式の案内状を同封しています。皆さんの参加をお待ちしています。

わ 挙げて準備を進めてきた10周年記念事業もあと1ヶ月余りで本番を迎えます。事業推進の主役、実行委員長並びに各部会代表の方々に記念事業に対する熱い思いや抱負を語って頂きました。総務広報部会 加藤 勇治

記念事業実行委員長

郷 肥三

わ の設立から10年の年輪を重ねてきましたが、諸先輩をはじめ、数多くの方のご尽力のお陰で今や1000名を超えるNPO法人に成長し、市内有数のボランティア団体として注目される存在となりました。10周年記念事業の実施で、一人でも多くの方にわのあゆみと現状について理解を深めていただき、今後のあり方を考えるきっかけとなることを願っています。

10周年記念事業を単なる“お祭り”に終わらさず、わの活性化の弾みとすることを切に望みます。

記念イベント部会

中沢 保夫

今回の記念イベントは“格調の高い全員参加型の催し”とする基本方針にこだわった部会委員の苦心の企画です。第1部「記念式典」ではセレモニーのあと「松本薫平氏テノール記念演奏」が見所です。

第2部パフォーマンスでは、わ登録の全ボランティアグループがプラカードを先頭に、順次ステージをパレードし、まさに全員参加型のパフォーマンスでわの活動の全容を見る趣向です。

第3部は卒業生を中心とした相互交流会です。カレッジ内の教室を7つのコースに振り分けて、コース別に1期から11期までの卒業生が会員、非会員を問わず自由に交流する催しです。これを契機としてわの活性化に弾みが付けばと願っています。

地域交流・体験事業部会

西隈 勝利

地域交流、体験イベントを「わいわいストリート」と銘打ち、9月2日(日)にしあわせの村中央緑道、芝生広場等で開催します。今回の目的は地域の皆さんとの交流を一層深める。普段あまり交流のない各

グループわボランティア活動標語
 最優秀作
 とどけたいあなたのもとへ わの愛を
 (中沢 千枝子作)

優秀作
 ボランティアやってよかったあの笑顔
 (加藤 勇治作)

優秀作
 経験と知識が“わ”となり 他のために
 (飯井 冴子作)

グループが、同時にイベントを行う事により理解と親睦をはかる一ことにあります。このため多くのグループの参加を呼びかけ、11グループが参加する事になりました。

今回の企画は福祉振興協会との共催となり、当初の構想が実現しました。9月2日は皆さんに楽しんで頂けるイベントとなる様、準備を進めてまいります。

記念事業記念誌部会

朝日 照夫

10周年記念誌編纂の任を課せられたとき真っ先に浮かんだのは2003年3月に発行されたグループ

“わ”5年の歩みだった。約70ページのこの小史は情報ぎゃらりー初代の編集長だった金川章三さん(国際1)と2代目の横田穰さん(生環2)3、4期の委員長の中島洋吉さん(生環3)の3人が編まれたもので、私は最終段階でお手伝いする機会を与えられた。5年ずらして同じものを...と考えたが、あの原稿や情報は横田さんらがこつこつと長年かかって集めたもので、とても真似のできる作業ではないと気付いた。

改めて同誌を眺めると設立に奔走された方々の大部分が現在も活躍されていることが分かり、設立時の苦心やら初心を直接書いて頂けないかと大体の方向付けが決まった。そのための多くの方々に寄稿をお願いする結果になったが、10年後に20周年を迎える人たちへの伝言になれば、と思っている。

展示・パフォーマンス部会

裏地 彦允

わのボランティアグループが一堂に会することは画期的なことです。企画を担当する私は、ボランティアグループが多い事は知っていたが、あらためてグループが72もある事に驚いた。しかもその活動分野は多岐に亘り“わ”のこの10年間の活動を迎えることの重さを感じています。このパフォーマンスを通じて各グループの活動を一人でも多くの方々に知って頂きたいと願っていますが、全員参加型だけに1グループの持ち時間は1分間で、この時間内にいかにアピールしてもらえるかが、我々担当者の大きな課題である。プラカードを持ってのパレード行進は“明るく、楽しく、元気よく”をモットーに趣向を凝らして行えるような企画を立てたいと考えています。現在、多くの方々の参加が見込まれ当日のパフォーマンスを期待して頂けるのではないかと考えています。

2007年グループわ 定期総会

新規事業推進と活動内容充実に全力投球

理事長 郷 肥三氏(福9)が決意表明

特定非営利法人社会還元センターグループわの第4回定期総会は平成19年5月15日(火)午前10時からシルバーカレッジホールで、門脇淳子さんの司会で開かれた。

郷理事長(福9)が「これまでのグループわの実績が認められて、市教育委員会のいじめ電話教育相談業務や須磨区役所の須磨一ノ谷プラザ貸室業務といった新規事業の引き受けを求められわの真価が問われている」と開会挨拶をした。来賓を代表して、こうべ市民福祉振興協会の米澤俊雄専務理事から「わはNPO法人として着実に実績を挙げられており評価は高い。今後ますますわに対する期待は大きくなるだろう。」との言葉をいただいた。

来賓として神戸市教育委員会 石神生涯学習課長、阪田指導主事、同市子ども家庭センター小川主幹、同市社会福祉協議会 小池福祉活動部長、田中ボランティア情報センター所長、兵庫区ボランティアセンター中山コーディネーター、北区ボランティアセンター福中所長、同市シルバーカレッジ小林事務局長、神戸ワイン 高階FFP部部長の臨席があった。

議長に赤司松美さん(生6)書記に三島隆夫さん(生8)を選び、赤司議

長より当日の会員総数1155名、総会出席者205名、委任状535名で会員数の過半数を得て総会は成立している旨の報告があった。

議事に移り、井上堅副理事長(福8)から平成18年度事業報告、大西隆史財務担当理事から平成18年度決算報



承認された グループわ 新役員の紹介

告、三宅慶忠監事から監査報告がそれぞれ行われた。これらの報告についての質疑のあと、一括採決の結果賛成多数により承認された。赤司議長から19年度新役員選任の提案があり、新理事長に郷肥三さん(福9)はじめ下記の新役員が満場一致で承認された。

郷新理事長が役員を代表して「役員の半数が新メンバーに替わったが、新

規事業を早期に軌道にのせ、現ボランティア活動の充実化に全力で取り組みたい」と力強い決意表明があった。

続いて加藤副理事長から平成19年度事業計画、藪口財務担当理事から同年度の事業予算についての提案説明があり、質疑応答ののち賛成多数で一括承認された。特に事業計画では従来の事業拡大、活性化路線に加え、「わ設立10周年記念事業開催を契機としたグループわの活性化推進」と「いじめ教育相談業務や須磨一ノ谷プラザ

貸室業務といった新規事業の推進」を新たな取り組み課題としている。

また設立10年の節目の年につき、わの組織・業務運営全般にわたり見直しを行い、将来に繋がる活動基盤

固めにも取り組むとしている。主要議案すべての審議が終了した。最後に退任した井上前副理事長からお礼の挨拶があり、閉会した。

続いて第2部の文化部会のパフォーマンスに移り、ハワイアン、奇術、コーラスなどがあり、終わりに混声合唱団と参加者で校歌を合唱して、盛況のうちに本年度定期総会諸行事が無事終了した。

監事	西区会長	垂水区会長	須磨区会長	長田区会長	北区会長	兵庫区会長	中央区会長	灘区会長	東灘区会長	いきがい部会長	文化部会長	環境部会長	国際部会長	福祉部会長	広報部会長	財務担当	事務局次長	事務局次長	事務局次長	理事	副理事長	理事長	郷肥三				
大西隆史	小林将悟	国分東洋彦	国枝隆二	佐々信義	松本治司	柳田栄一郎	川田陽太郎	五味正昭	福田望	白岩信義	阪本紘一	裏地彦充	西限勝利	土井昭政	横井幸雄	長谷川洸士	藪口卓也	西田圭一	米倉和子	丸澤賢一	高木稔雄	増金スミ子	藤田勝	東本敦子	上田市夫	加藤勇治	郷肥三
(生8、再)	(生8、新)	(生、新)	(生、新)	(福7、新)	(美8、新)	(国6、新)	(生7、再)	(福7、再)	(国8、再)	(国7、再)	(生9、新)	(食5、新)	(生7、新)	(国、新)	(福、新)	(国、新)	(園、新)	(生9、新)	(生、新)	(福、新)	(国、新)	(福、新)	(福、新)	(福9、再)	(生、新)	(美、新)	(福9、新)

平成十九年度社会還元センターグループわ新役員

新理事としての就任の抱負

わの活動発展に 全身全霊を傾ける

理事長 郷 肥三(福-9期)



5月15日の総会で承認して頂いて平成19年度の理事長を務めさせていただきます。

昨年「誠実、信頼、思いやり」の精神で皆様のご協力のもとに精一杯努力してまいります。

皆様方のご尽力によりこうべ環境未来館の再契約、パソコン講習会の開催等がスタートしました。6月になりまして(財)長寿社会開発センターの助成金も決定しました。その他数々のイベントなども期待されます。

この7月には設立10周年を迎え、9月1日、2日には記念式典をはじめ地域交流等を開催します。震災復興の中で生まれたボランティア活動が地域活動に広がって10年間継続されてきたことは素晴らしいことです。物質的豊かさを求めすぎて、自己中心的な競争社会になってしまった今の日本は何かおかしい！昔ながらの心温まる社会を取り戻すことが必要ではないでしょうか。そのためにも今後の10年間も、わの活動を継続・発展させ、若い世代に思いやりの心を伝えなければなりません。この1年そのための基礎固めに努力したいと考え、理事長として全身全霊を傾ける決意です。このわの活動が市民の皆様から感謝され、また会員一人一人にとって、人生の活力となりまことを切に願っています。

現場支援に全力投球

副理事長 加藤 勇治(美-10期)



グループわは今や1000名を超える会員を擁し、市内有数のボランティア団体として注目される存在となりました。少子高

齢化が進む社会にあって、経験ゆたかなシルバー人材を擁するわの活動は今後ますます重要性を増すに違いありません。

わには有能な方が数多くボランティア活動志願者として登録されています。一人でも多くの方がボランティア活動に加わり社会貢献が実感いただけるよう“縁の下の支え”として現場支援に全力投球したいと思います。

微力だが支柱の1本に

副理事長 上田 市夫(生-10期)



わに入学？して2年目を迎えました。達人揃いの先輩諸侯が築き上げたわの奥の深さ、幅の広さを勉強しました。

一部分を覗いたに過ぎない1年でしたが、わの10歳の誕生年に関われたことは奇縁です。微力ながら数ある支柱の1本になりたいと思います。「他のために」の実践を目指すシニアパワーは、行政からも注目されており、私たちの出番は今後増えるものと思われま。総力戦で期待に応えましよう。

女性の活動の結集を

理事 東本 敦子(福-9期)



事務局のお世話をするようになってもう三年目に入りました。一年目は、右も左もわからないまま夢中で過ぎ去ってしま

ましたが昨年はようやくわの活動が少しは判ってきて、どうすれば良いか考えられるようになった気がします。

今年はあたらしく、2人の女性が理事として本部に加わりました。女性だからこそ理解できること、女性しか気付かない細やかな気配り、目配りを効かし、女性全員の力を結集し、活動に生かせるよう頑張ります。『わ』の事務局に女性会員が頻繁に、

また気楽に顔を出せる、親しみやすい雰囲気作りに努めたいと考えています。どうか、より一層支援くださいますようお願いいたします。

真の幸せのサポーター

理事 増金 スミ子(福-11期)



少しのお手伝いで、幸せを分かち合える事が出来る社会”にならないものだろうか？

行政だけに頼らないで自分達の手で

小さなことで良いから何か出来ないものだろうか？。そんなことを考えていた私に、グループわと言うボランティアグループが大きな活動の場を与えてくれました。

その活動は毎日が新鮮であり、日々これ新体験です。戸惑うこともしばしばですが、色んな可能性がある活動に魅力を感じながら、真の幸せのサポーターとして、グループわの繁栄に少しのお手伝いでも出来れば……と先輩たちのご支援を頂きながら、毎日を楽しんで勉強させていただいています。

感動と感激と感謝の気持ちで『ありがとう』の言葉と一緒に！。

グループわの潤滑油

理事 藤田 勝(福-11期)



卒業後は、カレッジの建学精神を実践し、お世話になった世の中に少しでも恩返しをしたいと考えていたので、誘われるままに深く考えないで

わの仕事に携わる事になりました。今、先輩方の仕事の一端に触れる中で、グループの推進役としての計画性と実践力を高める努力と、法人の理事としての仕事と責任のあり方を意識しています。あたかも10年の節目の年を迎える今年、その一員に加えていただく機会に恵まれたことを感謝します。最後にグループわの潤滑油となるよう努力を惜しまない所存です。

再度、縁の下の力持ちで

理事 高木 稔雄 (国-10期)



昨年は“縁の下の力持ちとして”を抱負として掲げ、がむしゃらにやってきましたが、時の理事長や事務局長ほか皆さんの支

えがあって何とかやってこれました。今年度は事務局長という肩書きを頂いていささか荷の重さを感じていますが、また皆さんのご協力・ご支援の下、前向きに事務をこなしていきたいと考えています。

わ本部の仕事は多岐に亘り量的にも多く大変ですが、停滞は許されません。理事長をはじめ全員が一致団結して前向きにこなしています。事務局としても会員の皆さんの活動を円滑に進めて頂くため、今年も再度「縁の下の力持ち」を標榜してタイムリーに果たしていくつもりです。今年にはわ設立10周年という節目の年でもあります。忙しさも倍加していますが、この時期にわ本部に在籍できたことも前向きに捉えたいと思います。さらに今年には事務局の作業の効率化をテーマとして取り組む予定です。会員の皆さんに若干のご負担をお願いするかもしれませんがよろしくお願い致します。今年も会員の皆様のご指導・ご協力をよろしくお願いいたします

組織の抜本見直しを

理事 西田 圭一 (生-9期)



このたび、西区会長を退任し、財務担当に就任することになりましたが、西区の竹の台地域では地域との連携して活動する場が

拡大し、わの組織力を認められるようになってきましたが、まだまだ定着したわけでありませんので、今後とも努力する所存です。

一方、財務関係は退職後実務からかけ離れているので、勉強しながら早く役立つように努めます。本年は、わ設立10周年を迎える節目の年ですので、わの組織の抜本的な見直しを行い、NPOとして実りある組織を作っ

ていくよう頑張りますので、皆様のご協力のほどお願いします。

わの活動の歯車として

理事 米倉 和子 (生-11期)



在学中は、2階の端にあるわの事務所にたくさんの方々が出入りされているのを見て何をされているのかと思っていました

が、今回理事として中に入って見ると、グループわの皆様のパワー溢れるボランティア活動を支える歯車でした。私もその一員としてお手伝いしながら素敵な人生を送っていらっしゃるわの先輩方をお手本にしたいと思います。

新米記者に情報提供を

理事 長谷川 洸士 (国-11期)



カレッジ卒業後は神戸市安全推進員に専念するつもりでしたが、わ本部から広報担当の要望があり、全く経験がないので、辞退申

し上げたのですが、諸先輩のご指導を受けながら、新しいジャンルに挑戦することにしました。

今後、会員の皆さんが各方面で活動をされている状況を、情報ぎやらりーで広報していきたいと考えています。未経験の新米記者にご指導ご鞭撻を賜り、皆様方の積極的な投稿をお願いいたします。

季節の草花

ヤブガラシ

生8文 久保知彦

この植物が繁茂すると、その土地の養分を吸収して付近の植物を枯らしてしまうとか、他の植物にからみついて光をさえぎって枯らしてしまうなどの理由でこの名がついたようだが、またの名を「ピンボウカズラ」といい、貧乏で庭の手入れが行き届かない家に茂るといふ意味のありがたくない名前を頂戴している。

ブドウ科の植物で、つる性、やや赤みを帯びたつるに鳥足状複葉という特異な形の葉をつける。

葉の反対側につるを出して(対生)他のものからみつく。次の葉のところから花や枝がでて、次の葉の部分につる、というように一つおきにつるがでる。

花は朝開き、すぐに花弁とおしべが散り、そこに蜜をだすので、スズメバチやアシナガバチなどの虫が集まってくる。

多年生で地下茎が伸びて増える。この地下茎は切られるといたるところから芽をだすので退治しにくい雑草である。

この植物は有史以前に南方から北上して、日本中に広がったものらしい。



花
花弁は4枚
がくはない



花弁やおしべが
落ちると
蜜を求めて
虫が集まる

子どもたちの学習支援活動

支援要請校が急増

副理事長 加藤 勇治 (美 40)

学習支援活動の推移は下表のとおりです。

年度	支援要請校	支援活動校	支援会員数	対象児童数
平成17年	22校	18校	81名	14,532名
平成18年	28校	25校	214名	25,080名
平成19年	51校	26校	228名	

(19年度は7月20日現在です)

学習支援活動お世話役の会(委員会)平成19年度のメンバーは下表の通り。支援要請校急増に当たり、これからの当活動拡大策を含め検討を進めています。

委員長	中沢 保夫	音文9
副委員長	井上 堅	福祉8
副委員長	加藤 勇治	美工10
委員	神林 幹夫	国際5
委員	高橋 孝男	国際9
委員	土井 清二	生環9
委員	長谷川雅江	福祉9
委員	渡辺 寛治	国際10
委員	小林 勝	国際11
委員	宮崎 芳江	生環12
委員	濱岡 吉孝	福祉4
委員	増金スミ子	福祉11

上記委員(12名)の他にアドバイザーとして KSC 松本教務リーダー、わ 郷理事長が委員会に参画されています。

子どもたちの学習支援活動

平成19年度第2回登録者の集い開催のご案内

日時 : 平成19年8月8日(水) 10:00~12:00

場所 : 神戸市シルバーカレッジ 2F 学習室1・2

- 主な議題 : (1) 特別支援活動の方々の体験談
 (2) グループディスカッションをより充実した形でいきます
 (3) その他

登録者のみならず一般のグループわ 会員のご出席歓迎。

平成17年度の当活動スタート時から支援活動を続けられている「むかしあそび研究会」(会長 石川凱裕:福祉7期)の報告を初代会長 濱岡吉孝(福4期)にまとめていただきました。

むかしあそび研究会の誕生

平成13年4月、神戸市立北須磨小学校より「14年度から施行される新学習指導要領で、こども達が生き生きと学ぶことを目標とし生活科・総合学習が新設実施される。本校が先導的実験校として近畿地区生活科研究大会の研究会指定校になった。1年生の授業に伝承的な遊びで参加して欲しい」と要請があった。KSCの卒業生と在校生の有志5名で熟考の上これを受諾。会を創設し、ボランティア活動を開始。

むかしあそび研究会の活動状況

創設後6年の歳月が流れたが、本会の目的(子ども達と共に伝承的な玩具を作って遊ぶ活動を通し、子らに生きる智慧やわざを伝える)に賛同し入会する方が年々増加し、現在187名(KSC卒業生133名、同在校生54名)の会員を擁する会に成長。活動のエリアは神戸市の全区にわたり、活動

の対象は幼稚園児、保育園児、小学生、障害児、外国人児童生徒等の多岐に及んでいる。

活動内容は

伝承的な玩具(竹馬・こま・けん玉・メンコ・折り紙・お手玉・綾取り・おはじき・羽子板・竹返し・・・等)で子どもと共に遊ぶ。

伝承的な玩具(水鉄砲・紙鉄砲・ゴム鉄砲・紙飛行機・紙巻ごま・ぶんぶんごま・紙トンボ・竹とんぼ・七夕飾り・等)を子どもと作って遊ぶ。に分類できるが、実施場所の希望をよく聞き、数種ミックスして実施している。

活動の頻度は、「また来てね!いっしょに遊ぼうね。」と言う子ども達の温かい言葉と輝くまなざしに励まされ、加えて創業以来続く「わ」との緊密な協力関係に支えられ活動が年々右肩上がりに増加している。ちなみに、昨年度はしあわせの村・フルーツフラワーパーク等での各種イベントや幼稚園・小学校などの教育機関での活動は総計で31箇所のべ70回を数え、われわれと共に遊んだ幼児・児童生徒はのべ7007名に達した。

子どもたちの学習支援活動とむかしあそび研究会

平成17年5月「わ」の活動の一環として、将来の日本を背負う子らのためという高い理想を掲げ「子どもたちの学習支援活動グループ」が立ち上げられ活動を開始した。むかしあそび研究会も創設のときから伝承的な遊びで小学校低学年の生活科の授業に参入し、学習支援を実施してきた経験をもっていたので、本会の呼びかけに応じて協力関係を保ちながら、伝承遊びの分野で活動し現在に至っている。今後は協力関係を更に深めながら3年生の社会科「昔の暮らし」、6年生の社会科「戦争と平和」の單元などの語り部活動で学習支援の領域を広げたいと考えている。

おわりに

「今の子は・・・」と批判的な言葉をしばしば耳にするが、これまで6年間の実践を通じて、どの子も明るく素直で、好奇心旺盛でやる気充分、そして何よりも遊ぶことが大好きで、私達の子どもの頃と全く同じと言う実感をもった。

この子らがある限り、日本の将来は決して暗くない。大人がよい手本を見せながら、大切に育てなくてはの感慨を強く抱いている昨今である。

オープン以来の稼働率 15,8%

須磨一ノ谷プラザで、部会の集まり、同好会の開催を 副理事長 上田 市夫(生環40期)

グループわが新たに取り組むこととなった「須磨一ノ谷プラザ」の管理運営業務は、4月17日のオープン以

来には広報活動が重要ですが、昨年5月末の「旧神戸市勤労会館海の家」の廃止



一ノ谷プラザのオープンを待ちかねて踊りの稽古に励むご婦人たち

の際に従来の帳簿類はすべて廃棄されており、グループわとしては顧客リストもない全く白紙からのスタートでした。かつての顧客にリニューアルオープンのご挨拶も出来ず、直接売り込みにも行けないというのは、もどかしい限りです。

このことについては、須磨区役所を通じて利用案内やチラシを北須磨支所・長田・垂水区役所等の公的ガイドコーナーに配置してもらうよう働きかけておりますので、今後この効果も期待したいものです。

会員の皆様方も部会の集り、同好会やグループの勉強会、打ち合わせ会などに是非ご利用ください。風光明媚な須磨浦公園の一角にあって、素晴らしいロケーションです。食べ物は出前の利用となりますが、飲みものは自動販売機を利用いただけます。わ会員の皆さまには、須磨一ノ谷プラザの広報宣伝活動についてお力添えをお願い致します。

来2ヶ月半が経過しました。申し出のあった40名のスタッフの方々の当番制で運営にあたっていただいておりますが、肝心の利用者は今のところ低調に推移しており、貸し室料金で経費のすべてを賄うグループわの初めての「貸室事業」は、苦しいスタートになりました。

このため当番執務者の方々には、利用の予約状況によって執務の変更をお願いするなど多大のご迷惑をおかけしております。貸室の利用が増えることが事態打開の何よりの特效薬になりますが、施設の老朽化に加えて、立地条件が市街地から離れている不利など健全経営に至るには課題山積です。

貸室の稼働率は4月は7.6%、5月は14.8%、6月は21.1%と漸増はしておりますが、この上昇傾向が続くことを期待するばかりです。

期間中の平均稼働率は15.9%、利用内容別では麻雀20.6%、民謡18.3%、会議14.7%、器楽13.8%、三味線8.7%、謡曲8.3%、その他15.6%となっております。利用者は近隣の方々が多く、地域の交流の場になっていることが伺えます。

グループ紹介 わらべ

福祉9 文 祇園明敏

『わらべ』は、福祉文化9期生が中心のメンバーです。3年生の時、グループ学習で「子育て支援」をテーマにして紙芝居を取り組み、その練習の成果をグループ発表会で「稲むらの火」を演じました。

そして卒業後、ボランティアグループ『わらべ』として、引き続き活動に取り組み今日に至っています。活動は、児童館、幼稚園、小・中学校、老人施設などを訪問し、紙芝居、昔の子供遊びを披露する。時には増金スミ子さん(福祉11期)の応援を得て“南京たますだれ”を演じて好評を博しています。2005年1月、神戸市で世界国連防災会議が開催されました。その



老人施設の慰問に訪れた『わらべ』の会員たち

際前段のパフォーマンスとして、人と未来防災センターで紙芝居「稲むらの火」を6日間連続で上演し、マスコミで大きく取り上げられました。

一方、2005年7月インド洋沖巨大地震で被害を受けたスリランカへ行き、津波被害の大きかった南部地域の小・中・高校を訪問し紙芝居「稲むらの火」を演じて大変な歓迎を受けました。

最近では6月12日(火)私立丸山中学校の西野分校(夜間)を訪問、一時間目の授業で紙芝居と大正琴の演奏で充実した授業を実施しました。なお大正琴は前田仁子さん(福祉11期)岩井明子さん(福祉11期)井谷豊子さん(食文11期)の3人が出演してくださいました。

環境部会 ヤマセミを見たよ

バードウォッチングと野草クッキング教室

生8 - 環 西阪 順三



野鳥の姿を双眼鏡で追う親子たち(西区押部谷町木見の裏山で)

こうべ環境未来館の本年度第2回エコスクール「バードウォッチングと野草クッキング教室～自然とふれあって、春を満喫しよう～」が5月12日(土)同館の周辺で行なわれました。

この日は汗ばむほどの暖かさで、親子54人が参加、グループ別の野鳥と自然観察会、里山、ピオトープの会や銀の匙の各グループ代表から探鳥のマナーや双眼鏡の使い方、近郊の野

草や木の芽の種類の見分け方などの説明を聞きました。グループごとに分かれて、近くの裏山まで出かけた親子たちは、双眼鏡を手に、野鳥を探していました。冬場と違って木々は若葉が生い茂っていて、鳥たちの鳴き声は聞こえるのですが、姿を見つけるのに一苦労です。そんな時、空高く飛ぶトンビやツバメの間を縫って、この付近では見る事は珍しいヤマセミが一瞬、美

しい姿を見せた。「あの鳥は何んというの」と野鳥クラブの先生たちが質問攻めにあっていました。

このあと親子たちは山からの帰りの道に生えているワラビ、山椒、オオバコ、芹、ヨモギを摘んでいました。里山の会の先生たちに毒草が混じっていないかチェックして頂いて、それぞれ自宅に持って帰りました。午後から昼食をとりながらお楽しみの野草の試食会です。スタッフが事前に用意した野草を、銀の匙の会員が腕によりをかけてワラビや柿の葉、タンポポを天ぷらやおひたしに調理して提供しました。みんな美味しそうにいただき、なかには家族にも食べさせると持ち帰る人も居ました。「こんな野草も食べられるなんて...」と、父兄たちも驚いていました。

最後に裏山で観察した16種類の鳥たちの生態についての解説を聞いたり、採取した野草の調理方法など詳しい説明がありました。なかにはメモを取る父兄もあり、有意義な1日でした。35歳の母親は「子どもたちに自然に親しみ、大切にすることを教えたい」と話していました。

燃料電池で動くカートに大喜び

地球を大切に環境教室 ～自分でつくるエネルギー～

こうべ環境未来館と大阪ガス、栗本鉄工所の共催で「地球を大切に環境教室～自分でエネルギーをつくってみよう～」が好天気の6月16日(土)午前10時から同未来館で、熱心な親子54人が参加して開かれました。

私たちは多くのエネルギーを使って、さまざまな環境問題を引き起こしています。次代を担う子どもたちに地球を大切にするには何をしたらよいかを体験的に学び、身近な事から実践してもらおうと開かれました。

親子たちは6つのグループに別れ、それぞれ班ごとに環境クイズに取り組み「透明なファイルはどんな材料でつくられますか」「ジュースのアルミ缶をリサイクルすると何になるか」などの難問に挑戦していました。

栗本鉄工所の担当者から子どもたちにも解かりやすいエネルギーにつ

いての話を聞いたあと、ペットボトルとコルクを使って思い思いの羽根車をつくりました。小型モーターに作成した羽根車を取り付けて、扇風機の風の力で回転させてどれだけ発電できるかを実験しましたが、200アンペアを発電する作品もありました。

午後からは大阪ガスの天然ガス車とディーゼル車の排気ガスの比較実験したり、お楽しみの栗本鉄工所の燃料電池で動く電動カートや車椅子に試乗して大喜びしていました。

今回初めての試みで、地球にやさしいラーメンづくりをしました。班ごとに違う鍋を選んで、どの鍋が熱の伝わりが早

いか、そして食べたあとのごみの量を競いました。鍋についてはアルミ、ステンレス、ガラスの順に熱の伝わりがよかった。またごみについてはある班は、プラスチックの食器は洗って使えると持ち帰ったので、他の班の半分以下の量でした。

大阪ガスの担当者から「ごみは人間の考え方一つで多くなったり、少なくなったりします。ごみを捨てる前によく考えましょう」と講評していました。



燃料電池の電動カートに試乗して大喜びの子どもたち

国際部会

車椅子テニス大会の 支援ボランティア

国 9 - 国 竹内 義治

兵庫県車いすテニス協会主催の「KOBE OPEN 2007 車いすテニストーナメント」が今年も 4 月 27 日(金)から 4 日間、しあわせの村テニスコートで全国から 123 名の選手が参加して開催されました。本大会は 1993 年に国際車いすテニストーナメントとしてスタートし、今年で 14 回目を迎えました。



熱戦を繰りひろげる車椅子テニスの選手たち

いつからグループ わ 国際部会がお手伝いするようになったかは定かではありませんが、国際大会への外国人参加選手の送迎、会場での支援のために始まったと聞いております。昨年 2006 年からは「IFT フューチャーズ」大会として再出発し、参加選手も国内選手が主体となりました。

大会には多くの団体・グループの人たちが参加し、運営の支援をしています。私たちのグループ わ は、国際部会が中心になり北区会の皆様の応援を得て支援ボランティアに参加いたしました。

この競技は専用車いすを使い、プレー



テントの設営に汗流す会員の皆さん

ヤーは 2 バウンドでボールを打つことができる唯一の例外を除いて、健全者テニスと全く同じルールに従って、見ごたえのあるスポーツです。選手たちは障害者とは思われないほど明るく、素晴らしい試合を展開し、生き生きとしたプレーを楽しんでいました。そんな真剣な姿に接して、反って元気を貰った 4 日間でした。

私たち わ のメンバーの支援作業は伊丹空港、神戸空港、新神戸駅での参加選手の送迎、添乗をはじめ会場では、大会前日には会場の準備・設営、大会当日には専用駐車場の整理、テントの設営、飲み物・弁当の配布、トイレの掃除、廃棄物処理など大変幅広い作業のお手伝いをしていますが、延 50 人の方々に参加して頂きました。

最終日の表彰式では大会委員長より丁寧なる感謝の言葉をいただきました。快く参加いただきました国際部会、北区会の皆様、大変有難うございました。

ピオトープで自然を体験！ 麒麟ビール神戸工場を訪ねる 生 3 - 環 中島 洋吉



芝生のうえで「はっぱじゃないよぼくがいる」の絵本の読み聞かせる

本年度第 4 回のこうべ環境未来館エコスクールが、6 月 2 日(土)神戸市北区の麒麟ビール(株)神戸工場で開かれました。工場敷地内のピオトープや植樹等などから季節を感じ、ゲームや遊びの中から自然の大切さを感じ取ってもらいました。

ピオトープ紹介のビデオを見た後、ビールから生まれた『エコジロー』を

主人公にした牛乳パック、ビール瓶、ラベル等をごみにせずリサイクル、ごみは分別する紙芝居と、アルミ缶、紙くずなど新しい資源となるももの話やリサイクルクイズなどで企業の環境への取り組みについて学びました。その後、外へ出て、ピオトープ周辺の芝生の上を素足になって歩いたり転がったりして自然を肌で感じてもらいました。

続いて「はっぱじゃないよぼくがいる」の絵本の読み聞かせの後、落ち葉を拾って、その落ち葉を顔に見たて、イメージすることを台紙に書き、参加者同士が作品の紹介をしました。1 枚の落ち葉でも見ようによってはいろんな表情を持っていることを発見し、作品を紹介しあうことで豊かな分ち合いの時を持つことができました。

また、ピオトープに入れてあったモンドリを引き上げ、ドンコやカワバタモロコを観察したり、ピオトープ周りの溝に、たくさんのオタマジャクシがいるのを発見しました。麒麟ビールへの質問タイムでは、子どもたちから、なぜ麒麟ビールというのか、ビールを作るとき使う水はどこから持ってくるのか、ホップはどこのものを使っているのかなど大人顔負けの質問が出ました。

最後に工場見学と試飲をして全てのプログラムを終了しました。参加者は、麒麟ビールの環境への取り組みの話を通して、リサイクルや資源の大切さを感じ取り、また、芝生の上を素足で歩いたり転がったりして自然の大切さを感じ取って もらえたと思います。

とどきたい あなたののもとに わの愛を グループわ ボランティア活動標語の入選作品が決まる 副理事長 加藤勇治(美・10)

10周年記念事業実施を機に、今後のわの活動指針となる標語を広く会員に募集しましたところ、44名の方から、合計151点の作品の応募がありました。選考審査要領を定め、10周年記念実行委員会の代表者会議で、作者名を伏せて厳正審査の結果、下記の通り最優秀作(1点)優秀作(2点)佳作(5点)が決定いたしました。

ボランティアに対する“熱い思い”を込めた力作が多い中、これからのグループわのキャッチフレーズとして採用されました最優秀作は「わの愛」という短い言葉の中に、ボランティア活動にたずさわる会員個人とわという団体双方の“熱い思い”が端的に表現されている点が評価されました。標語募集に際し、多数応募いただきありがとうございました。

【最優秀作】

「とどきたい あなたの
もとへ わの愛を」
中沢 千枝子(音・6期)

【優秀作】

「ボランティア やってよかった
あの笑顔」
加藤 勇治(美・10期)
「経験と知識が“わ”となり
他のために」
飯井 冴子(一般)

【佳作】

「わが結び あなたの笑顔
わたしの元気」
川本 清正(食・10期)
「ボランティア 出来るしあわせ
明日もまた」
泉田 政子(音・2期)
「“わ”になって 新たな生き甲斐
ボランティア」
西田 敏之(生・9期)
「世のために 築け人の和
ボランティアの輪」
藤森 淳二(国・9期)
「明日のため 今日仲間と
ボランティア」
前田 仁子(福・11期)

皇居の清掃奉仕10年

音4 - 福江田 正子

神戸シルバーカレッジ皇居奉仕団は、ことしも4月9日からグループわの会員を含む34名が参加しました。平成10年から毎年、皇居清掃奉仕の参加を続け、ことしで10年を迎えました。

清掃奉仕は皇居内が3日間、赤坂御苑1日の計4日間でした。作業内容は草引きですが、芝生内ではピンセットを使って雑草を引き抜きます。また落ち葉などは竹箒、ガンジキを使って集める作業です。

清掃の途中に天皇・皇后両陛下、皇太子殿下がお出ましになり、作業中の私たちに会釈を賜り、一同感激のひとときでした。

奉仕終了後はNHKで歌謡コンサート、国会議事堂を見学したり、浅草観音、靖国神社に参拝しました。帰郷後、今井学長を訪ねて10年間の皇居奉仕を報告し、永年にわたる奉仕

活動の激励を受けました。平成10年に吉田正三さん(音文3期)と江田で奉仕団を立ち上げ、この間、参加者が少ない年もありましたが、知人などに参加を呼びかけて続ける事が出来ました。



皇居清掃のシルバーカレッジの奉仕団

今回の奉仕団には、私たちのグループリハ・きずな18名が中心でした。奉仕団の10年の歩みを記録として残すこととし、記念誌の発刊する事にしました。兵庫県知事、神戸市長、今井学長から祝辞を頂きました。この記念誌をシルバーカレッジの図書館に寄贈していますので、ご一読下されれば幸いです。

美工6期一同から寄付金

7月6日現在、いまだに後任の世話役の名乗りをあげる人が居りません。2名の方から「解散」して会費残額をグループわに寄付してはどうかの意見があり、私も同感しました。会費残額16,165円にプラスアルファをして計2万円をグループわに寄付します。どうぞ有効にご活用ください。平成19年7月6日

代表 黒田 弘一

寄付金を頂戴しました。ありがとう
ございました。グループわ

編集後記

グループわの創立10周年の記念の年に、わの活動に参加し情報誌を担当することになり、中央・灘・長田・北の各区会にも伺い、また長坂小学校の日本伝統文化講座も見学させて頂きました。取材、執筆となると、作文は最も不得手の筆者が、それぞれの会場の雰囲気をごどのようにお伝えしたらよいのかと試行錯誤しています。幸いに前任の西阪編集長が、10周年記念誌編集で頑張っておられるので、色々ご指導を頂いていますが、新米記者は右往左往するばかりで、原稿依頼の方法、その他段取りも悪く、本号は10面を仕上げるのがやっとでした。

結果的に編集で、各面への振り分け、レイアウトなど、後は、校正、印刷すればよいところまでの制作を、西阪さんに全部お任せになってしまい、初仕事は情けないスタートとなりました。投稿を頂いた皆さんはじめ、役員の方々には大変お世話になりました。次号発行までには、もう少しましな紙面づくりが出来るよう学習しますので、皆さんの応援をよろしく願います。(M, H)

お 知 ら せ

わ本部事務局は

8月10日(金)から

8月16日(木)までの間

夏休みをいただき、閉局致します
ますので、よろしく願い申し上げます